



## 感染症最近の話題－麻疹－

麻疹は近年、周期的な流行はみられたものの、患者数は減少傾向を示していましたが、2007年に10代及び20代を中心とした年齢層で流行が生じ、多数の学校が休校措置を行うなど、感染の広がりにより社会的関心が集まりました。

そこで、国は麻疹及び風疹の発生状況について、定点把握対象疾病(予め指定した医療機関のみ報告する)から全数把握対象疾病(診断したすべての医療機関が報告する)に変更し、2008年1月1日から実施されています。麻疹の最近の動向をお知らせします。



顔面にみられる発疹

### 麻疹(はしか)

麻疹は麻疹ウイルスによっておこる感染症で、人から人へ感染します。空気感染(飛沫核感染)のほか、飛沫や接触などでも感染します。感染力はきわめて強く、麻疹の免疫がない集団に1人の発病者がいたとすると、12～14人が感染するとされています(インフルエンザでは1～2人)。麻疹ウイルスの感染後、10～12日間の潜伏期ののち熱や咳などの症状で発症します。38℃前後の熱や上気道炎症状(咳、鼻みず、くしゃみなど)、結膜炎症状(結膜充血、目やになど)が2～4日間続き、一時的に熱が下がったのち、再び発熱し、発疹が出現します。

### 全国の届出状況

全数把握対象疾病に変更になった平成20年第1週から第7

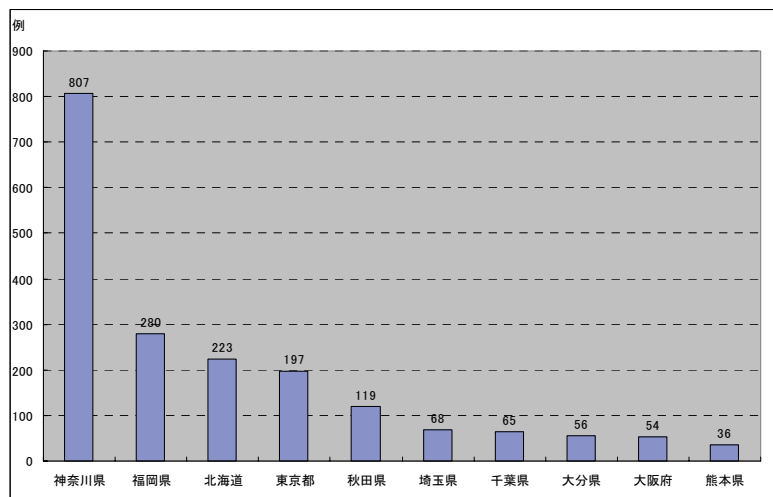


図1 全国の麻疹届出

週までの届出数は全国で 2,119 例です。神奈川県は 807 例(全国の 38.1%)を占めています。100 例以上の届出は神奈川県、福岡県 280 例(13.2%)、北海道 223 例(10.5%)、東京都 197 例(9.3%)、秋田県 119 例(5.6%)の 5 都道県です。神奈川県からの届出数が目立っています(図 1)。

### 神奈川県内の届出状況

神奈川県内の届出件数 807 例の週別届出状況は、第 3 週から増加し、第 3 週は 119 例、第 4 週 106 例、第 5 週 167 例、第 6 週は若干減少し 159 例、第 7 週は大幅に増加し 212 例でした(図 2)。

地域別・保健所別では、横浜市が 311 例(38.5%)で最も多く、横須賀市 300 例(37.2%)、鎌倉保健所 78 例(同 9.4%)、川崎市 41 例(5.1%)、相模原市及び藤沢市 17 例(2.1%)となっています。足柄上保健所からは 1 例、小田原保健所 2 例、秦野保健所 3 例で、神奈川県東南部からの届出が多く、神奈川県西部からは少数です(図 3)。

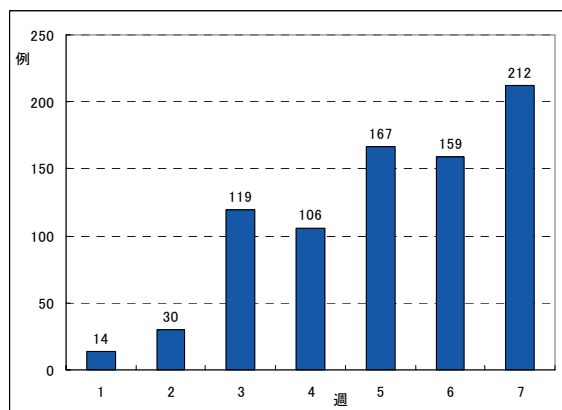


図 2 神奈川県内の週別届出

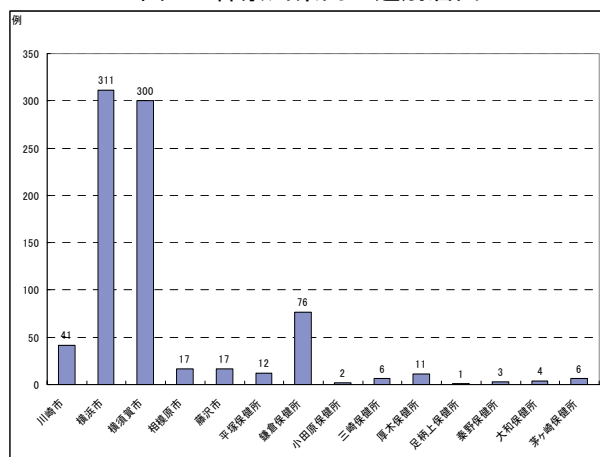


図 3 保健所別等届出

### 病型分類

横浜市及び川崎市を除いた神奈川県の届出数 466 例の病型別では、臨床診断例 359 例(77.0%)、検査診断例 95 例(20.4%)、修飾麻しん(検査診断)例 12 例(2.6%)で、専ら臨床診断による届出となっています(図 4)。臨床診断例の中には検査中も含まれていると思われます。症状は、全例で発熱、発疹 459 例、咳 411 例、コブリック斑 321 例、鼻汁 261 例、結膜充血 212 例などとなっています(図 5)。死亡例はありません。

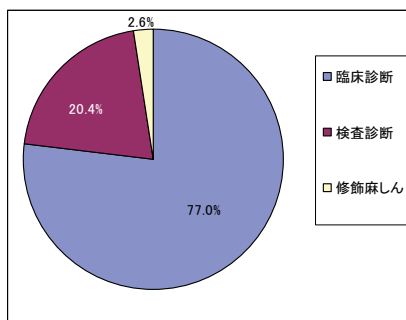


図 4 病型分類

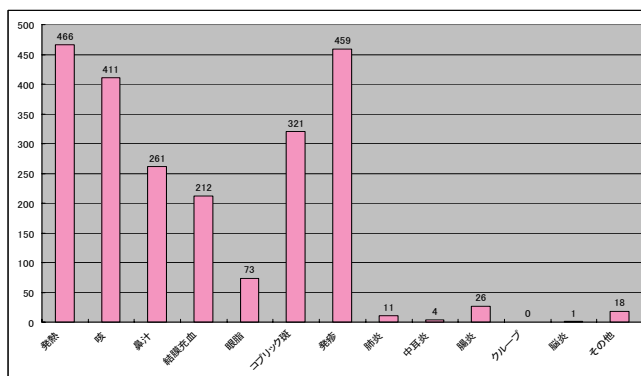


図 5 症状

## 年齢群

届出 466 例の最高齢は 62 歳です。年齢群では、10～14 歳と 15～19 歳がそれぞれ 105 例 (22.5%) と最も多く、次いで 5～9 歳 58 例 (12.4%)、20～24 歳と 25～29 歳がそれぞれ 48 例 (10.3%) などとなっています。10 代が 210 例 (45.0%) と発生の中心です。29 歳以下で 416 例 (89.3%) を占めています(図 6)。

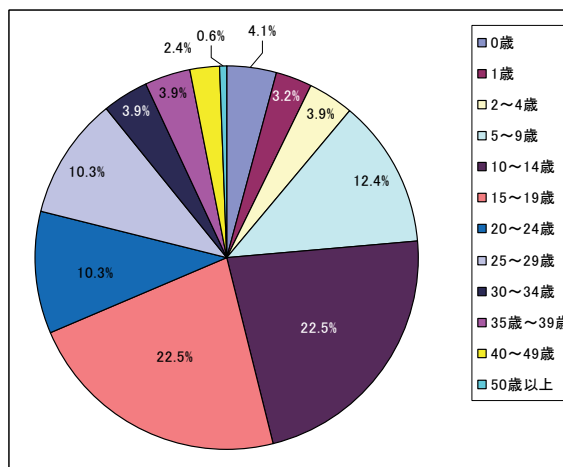


図 6 年齢群

## ワクチン接種歴と年齢

麻しん含有ワクチン接種歴と年齢の関係では、6 歳以下では「ワクチン接種歴あり」は 2 例のみで、「接種歴なし」が多数です。ワクチンの効果が表れています。全体的に「ワクチン接種者」の届出例は少なくなっています。発生の中心である 10 代で最も多いのは 13 歳、次に 15 歳です。いずれも多数が「ワクチン接種歴なし」です (図 7)。

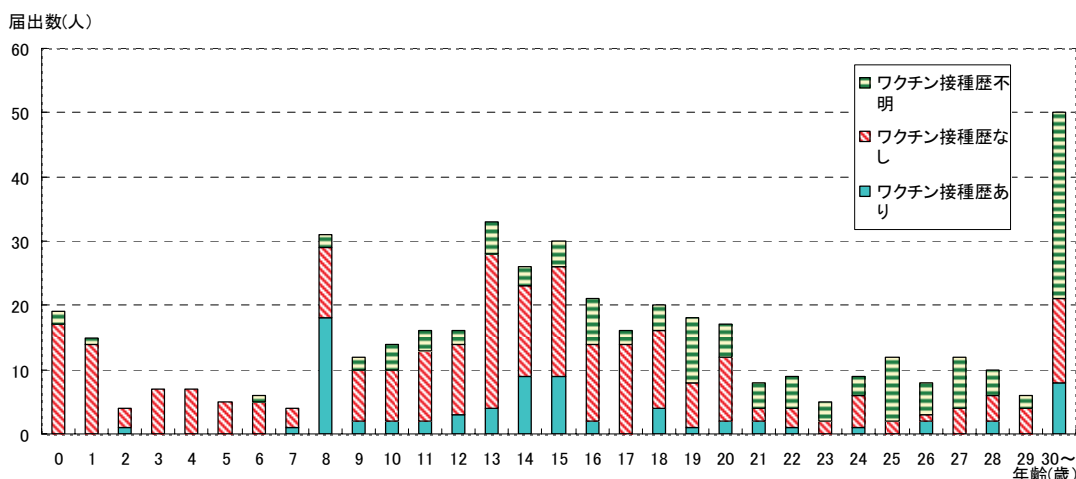


図 7 ワクチン歴・年齢

全例では接種歴なし 260 例 (55.8%)、接種歴不明 130 例 (27.9%)、接種歴ありは 76 例 (16.3%) です。

発生の中心である 10～14 歳では、接種歴なしは 68 例 (64.8%)、接種歴あり 20 例 (19.0%)、接種歴不明は 17 例 (16.2%) です。15～19 歳では、接種歴なしは 62 例 (59.0%)、接種歴あり 16 例 (15.2%)、接種歴不明は 27 例 (25.7%) です(図 8)。

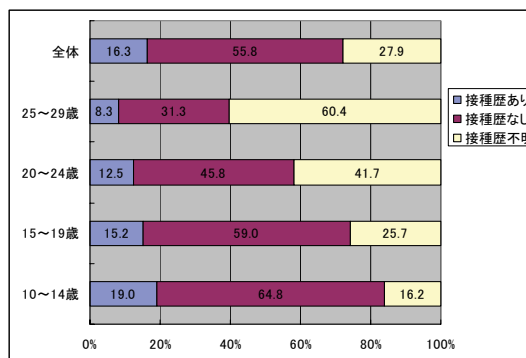


図 8 ワクチン接種歴

## 麻疹排除への取組み

2012年の麻疹排除（Elimination）を目標に、国において「麻疹排除計画」が策定されました。（1）積極的な感受性者対策、すなわち95%以上の予防接種率の達成・維持のための取組み（1歳代、小学校就学前1年間、さらに2008年4月1日より5年間の期限付きで実施される、中学校1年生及び高校3年生相当世代への定期接種としての予防接種計画）、（2）2008年1月1日からの全数把握制度による麻疹サーベイランス、（3）麻疹発生時の迅速な対応、が対策の三本柱として実施されつつあります。

国は「国の麻疹対策委員会」を設置し、「都道府県を主体とした麻疹対策会議」の設立等をはじめとした都道府県レベルの活動支援を行うこととしています。神奈川県においても、麻疹対策会議の設立等をはじめとした活動を計画し、チラシ「麻疹（はしか）に注意しましょう」を作成し、注意をよびかけています。

麻疹の流行が本格化するのは春季から夏季にかけてです。予防接種を受けることで、麻疹にかからないようにすることができます。

麻疹情報については：<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp>

はしかにならない！  
はしかにさせない！



企画情報部 神奈川県感染症情報センター 近内 美乃里



衛研ニュース No.125 平成20年3月発行  
発行所 神奈川県衛生研究所（企画情報部）  
〒253-0087 茅ヶ崎市下町屋1-3-1  
電話 (0467)83-4400 FAX (0467)83-4457  
<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp>

再生紙を使用しています。